

麦栽培情報 2月号

平成 31 年 1 月 30 日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

1 生育概況

播種以降、気温は平年より高く推移しており、生育は進んでいます。11月播種のほ場では現在5~6葉期、12月上旬播種のほ場では現在3.5~4葉期になっています。早播きのほ場では特に生育が旺盛なため、麦踏みの徹底や土入れによる生育管理に努めましょう。

また、雑草については、降雨は少ないものの気温が高く、発生はやや多い状況です。ほ場の草種や発生状況を確認し、適期の防除に努めましょう。

2 麦踏み・土入れ

麦踏み・土入れは、2月下旬頃までに3回程度行います。土壌が湿潤な状態で麦踏みすると、土壌が締め付けられ麦の生育を抑制するため、十分乾燥した状態で行います。また、土入れは麦踏み前に行い、麦踏み直後は避けます。(麦踏み後の土入れは麦の生育が回復するまで空ける)

3 雑草防除

雑草の種類に合った薬剤の選択が必要です。発生雑草を確認して、下記を参考に散布します。薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前~散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

スズメノテッポウに対してはハーモニー75DF水和剤が有効ですが、散布しても残る場合、他に登録のある除草剤はありませんので、土入れにより雑草を抑えます。広葉雑草については、下記使用時期を参考に早めの散布を心がけましょう。

薬剤名	使用時期	10a 使用量	備考
エコパート フロアブル	節間伸長開始期まで 広葉雑草：2~4葉期 ヤムガラ：2~6節期	50~100ml (水 100L)	・ <u>ヤムガラ</u> に効果が高い ・ <u>カラスノエンドウ</u> への効果は劣る ・茎立期以降は薬害を生じやすいため避ける
アクチノール 乳剤	穂ばらみ期まで	100~200ml (水 100L)	・ <u>カラスノエンドウ</u> に効果が高い ・高温時は薬害を生じやすいため注意する
バサグラン 液剤	麦の生育期 小麦：収穫45日前まで	100~200ml (水 100L)	・ <u>キボウガ</u> 類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い

4 排水対策

麦は湿害に弱く、ほ場排水性の良否が収量、品質に影響します。降雨後の表面排水を促すため、排水溝の整備や土入れを行います。

5 その他

12月下旬以降に播種したほ場では、追肥一発肥料を使用せず、2月下旬から3月上旬にNK2号 20kg/10aを施用します。



農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！